

総合計画体系	事務事業名 市道里熊小原線道路改良事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課
	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉	所属G	道路改良G	課長名	松村 直樹
	施策名	〈12〉道路の整備	担当者名	内田 貴宏	電話番号	0854-40-1063
	目的・対象	市民	予算科目	会計	款	大事業・中事業名
	目的・対象	道路利用者		項	目	中事業名

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市道及び市道利用者	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (年度 ~) ☒ 期間限定複数年度 (R4 年度 ~ R8 年度)	本路線は三刀屋町給下地区と主要地方道出雲三刀屋線を繋ぐ道路であり、地域住民の生活道路として、また通学路として重要な役割を担う路線である。 令和3年7月の豪雨災害により、三刀屋川にかかる橋梁が流出し、道路が寸断されたため、早期の整備が望まれている。幅員4.0mの橋梁を整備することで道路利用者の安全性と利便性の確保が図れる。整備延長 L=300m 幅員 W=4.0m
④ 主な活動 R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ・橋梁測量設計業務 ・橋梁地質調査業務	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 設計時に工法検討によるコスト縮減を図り事業費の抑制に努めている。 県河川三刀屋川に架橋することから、事前に県協議を行い設計条件に反映させている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 整備率(供用延長／整備計画延長)	%		0.0	0.0	0.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【地方債】過疎債 (委託費): 45,096千円 (事務費): 0千円 (合 計): 45,096千円	財源内訳	国庫支出金	千円			7,458	25,457	0
		県支出金	千円					
		地方債	千円			5,700	19,600	0
		その他	千円					
		一般財源	千円			42	39	0
	事業費計		千円		0	13,200	45,096	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	令和5年度は橋梁詳細設計(R4繰越)をおこない、同時に島根県との河川協議をおこなった。
② 事業実施するうえでの課題	今後の事業推進については、市の整備方針の決定、地元関係者との協議をおこない、実施を判断する必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	予算規模が大きく、他事業との事業期間の調整が必要となるため、道路整備計画の見直しなどの改善が必要となる。